



東高ニュース



1 文化祭 (芸術鑑賞会)

文化祭ではクラス全員で一丸となり、1つの劇を作り上げることができました。当日までのスケジュールはとてもハードで、大雨の影響で準備時間が減り、本番までに完成することが心配でしたが、クラス全員で協力し間に合わせることができました。



文化祭当日は、上手くいくか緊張しましたが出演者も舞台裏を支えてくれた人たちも今までで1番良いパフォーマンスを見せることができました。この舞台が成功したのはクラスの皆で協力しただけではなく、テーマを揃えて協力してくれた燈団の1・2年生のおかげです。これからの行事もクラス一丸となり燈団を盛り上げたいです。

6/6 (火) 芸術鑑賞会 「ブラストジャズアンサンブル」

自分の感性の赴くままに演奏する、ジャズ。今年は時間の芸術とも称される音楽、ジャズの世界を覗いてきました。ロックやポップスなど、さまざまなジャンルがある現代の音楽でも私たちがあまり触れることのないジャンルでとても新鮮でした。ジャズのことを全く知らなくても、その長い歴史やビート、楽曲中のアドリブについての話と、沢山学ぶことができました。ナタリー成田さんをはじめとする今回の演奏者、歌唱者の方々の技術には舌を巻くばかりで、聴いていて飽きることのない、素敵な時間を過ごせました。私たち観客を巻き込んで会場が1つになった感覚を忘れられません。「音楽は人生を豊かにする」という言葉がありますが、まさにその通りで、まだ知らない音楽の面白い一面を知れたように思います。



2 1年生 企業・キャンパス見学会

令和5年5月24日(水)「産業社会と人間」の授業で、企業・キャンパス見学会が実施され、クラスごと企業と大学を訪問しました。

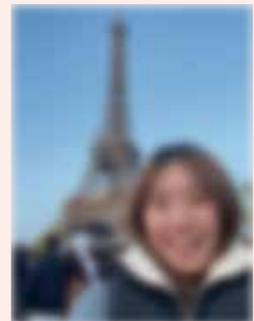
1組は愛知教育大学とデンソー高棚製作所、2組は中部大学と小島プレス工業、3組は愛知県立大学と林テレンプ、4組は名城大学とアイシン高丘、5組は南山大学とビューテック、6組は愛知淑徳大学と矢作産業を訪問しました。大学では、多様な学問について説明を受けたり、キャンパス内の見学をしたりしました。企業では、東高OBとの懇談会で質疑応答をしたり、工場内の見学をしたりしました。

生徒からは「学ぶとは言われたことをただ聞いているだけではなく、自分から進んで興味のある分野を調べ、学習に取り組むことが必要だと思った。」「社会人になると責任をもつことが大切になるから、課題の提出期限を守ったり、ミスがないか確認したりするなど信頼を得られるようにしたい。」などの感想がみられました。今回実施した企業・キャンパス見学会をきっかけに、学ぶことの意義や社会人として求められることを考え、自己の進路選択に生かしてくれることを期待します。



3 東高生紹介

私は、去年の9月から約9か月間フランスに留学しました。初めて1人で飛行機に乗り、言語もほぼ一言も話せない中、フランスの生活に飛び込みました。不安や怖いと思う気持ちではなく、「なんとかなる」という気持ちで留学という決断をすることができました。現地ではキラキラで楽しい経験ばかりではありませんでした。壁にぶつかる度に苦しさや悔しさを感じました。でも、現地の友達やホストファミリーが私のことを助けてくれました。沢山の出会いと経験を通して、いろいろな考え方をすることができるようになりました。この留学は私の世界を広げてくれました。「挑戦」したことで、自分を成長させてくれる素晴らしい経験をする事ができました。この留学は私にとってかけがえのない思い出です。



4 先生紹介

今西先生は、保健体育の先生です。授業では、パワーポイントを使用したり、グループでの話し合いなどの時間をもうけて下さるので、楽しく時には真面目に授業を受けることができます。廊下ですれ違った時に、元気に挨拶をすると笑顔で返してくれます。また、授業中に先生が話す友達はとてもユニークです。だから先生もきっとユニークだと思います。皆さんも沢山話しかけて先生のユニークな一面を見つけてみてください。よく、メディアホールにいらっしゃるのでぜひ話しかけてみてください。



5 部活動紹介 <男子バスケットボール部・箏曲部>

僕たち男子バスケットボール部は、顧問の先生のご指導のもと、日々活動しています。また、部員数が少ないので、部員全員で工夫しながら学年の枠を超えて切磋琢磨しています。休日の練習ではランニングからはじまり、練習をおこないリーグ戦などの試合で勝てるように頑張っています。これからも応援よろしくお願いします。



わたしたち箏曲部は1月にある県大会に向け、日々練習しています。箏の合奏には指揮者がいないので互いの音をよく聴き合う必要があります。箏のパートは一箏、二箏、十七弦で分けられており、曲の中で主旋律をそれぞれのパートが代わる代わる弾くことがあります。その際にはメロディーが綺麗に繋がるように弾く必要があるため、みんなの音が一つとなって綺麗に聴こえるように部員全員で努力しています。これからも聴いている人たちに感動を与えられるような演奏を目指して頑張っていきます。

